



滋賀県感染症発生動向調査 感染症週報

平成 31 年第 7 週 (2/11~2/17) 【概要版】

平成 31(2019)年 2 月 21 日発行 滋賀県感染症情報センター

1. コメント

- (1) インフルエンザは、**警報**発令中です。全ての保健所管内で先週と比べて減少しましたが、引き続き、継続的な手洗い・咳エチケット等を心掛けてください。
- (2) 今年に入って、県内で 2 例目の麻しんが報告されました。全国的には、例年と比べて患者報告が多い状態にあります。手洗いおよびマスクなどにより、効果的な予防は期待できませんので、麻しんの予防には、「2 回」の予防接種が最も有効な方法です。特に、定期接種対象者である 1 歳および就学前 1 年間に該当する児には、可能な限り早期にワクチン接種することをお勧めします。

2. 報告数が多かった定点把握疾患(五類感染症) ⁽¹⁾

(1) 滋賀県

疾病名	滋賀県						保健所別（iv）						
	2週前	1週前	今週	警報 注意報 （ii）	例年より 多い （iii）	例年より 非常に多い （iii）	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島
インフルエンザ	36.42	23.26	12.55	警			警		警	警			
感染性胃腸炎	5.53	5.53	5.31				多	↑	多	多	↑	多	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.69	1.47	1.53		○			↑		多	↑	↑	多

(2) 前週の全国および近隣府県の状況(下線: 滋賀県よりも多い)

疾患	全 国	滋 賀 県	大 阪 府	京 都 府	福 井 県	岐 阜 県	三 重 県
インフルエンザ	<u>26.28</u>	23.26	21.04	22.37	<u>23.43</u>	15.95	19.18
感染性胃腸炎	<u>6.03</u>	5.53	<u>6.38</u>	<u>5.64</u>	<u>7.27</u>	2.45	4.98
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	<u>2.52</u>	1.47	<u>2.30</u>	1.43	<u>2.45</u>	1.00	<u>2.09</u>



3. 全数把握疾患(滋賀県、今週診断例)

類型	疾病名	滋賀県					保健所別						
		2週前	1週前	今週	例年より 多い (iii)	例年より 非常に多い (iii)	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島
二類	結核	8	8	1	○		1						
三類	麻しん	0	1	1	○			1					
五類	梅毒	0	0	1	○	○				1			
五類	百日咳	1	4	3	－	－	3						

- i. 定点把握疾患: 人口及び医療機関の分布等を勘案して滋賀県が定めた患者定点(医療機関)で患者を診断した場合に、週単位で保健所へ報告される感染症を言い、報告された症例数を患者定点の数で除した「定点当たり報告数」により、発生状況を把握
- ii. 警; 警報発令、注; 注意報発令
- iii. 今週の値が過去 5 年の同時期(全数把握疾患は同時期の累積報告数)の「平均値」よりも多い場合に「例年より多い」、「平均値 + 2 × 標準偏差(SD)」よりも多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」で標記(定点把握疾患の平均値は過去 5 年間の前週、当該週、後週の合計 15 週の平均を利用)
- iv. 「警; 警報開始基準値を超過」、「注; 注意報基準値を超過」、「多: 今週の滋賀県の値よりも多い」、「↑: 前週比増加」(「警報」、「注意報」、「多」、「↑」の順に優先して標記)

滋賀県感染症発生動向調査 感染症週報

平成 31 年第 7 週 (2/11~2/17) 【詳細版】

平成 31(2019)年 2 月 21 日発行 滋賀県感染症情報センター

1. コメント(概要版より再掲)

- (1) インフルエンザは、**警報**発令中です。全ての保健所管内で先週と比べて減少しましたが、引き続き、継続的な手洗い・咳エチケット等を心掛けてください。
- (2) 今年に入って、県内で 2 例目の麻しんが報告されました。全国的には、例年と比べて患者報告が多い状態にあります。手洗いおよびマスクなどにより、効果的な予防は期待できませんので、麻しんの予防には、「2 回」の予防接種が最も有効な方法です。特に、定期接種対象者である 1 歳および就学前 1 年間に該当する児には、可能な限り早期にワクチン接種することをお勧めします。

2. 定点把握疾患(五類感染症)の定点当たり報告数(全国は前週の値) i, ii, iii, iv

定点区分 (定点数)	疾病名	滋賀県					保健所別 (iv)							全国 (前週) (iv)			基準値		
		2週前	1週前	今週	警報 注意報 (ii)	例年より 多い (iii)	大 津 市	草 津	甲 賀	東 近 江	彦 根	長 浜	高 島	全国 (前週) (iv)	警報 開始	警報 終息	注意報		
インフルエンザ (定点数:53)	インフルエンザ	36.42	23.26	12.55	警		20.91	9.70	17.43	14.75	5.00	5.71	7.67	26.28	30	10	10		
	RSウイルス感染症	0.38	0.22	0.25			0	0	0.75	0	0	0	2.50	0.42	—	—	—		
	咽頭結膜熱	0.13	0.09	0.22		○	0	0	0	1.40	0	0	0	0.33	3	1	—		
	A群溶血性レンサ球菌咽 頭炎	1.69	1.47	1.53		○	0.14	1.50	1.50	2.40	0.75	1.50	6.00	2.52	8	4	—		
	感染性胃腸炎	5.53	5.53	5.31			5.86	5.00	6.25	7.40	2.00	6.25	2.00	6.03	20	12	—		
	水痘	0	0.19	0.03			0	0	0	0.20	0	0	0	0.29	2	1	1		
	手足口病	0.06	0.03	0			0	0	0	0	0	0	0	0.13	5	2	—		
	伝染性紅斑	0.13	0.13	0.09		○	0	0.17	0	0.20	0.25	0	0	0.57	2	1	—		
	突発性発しん	0.16	0.13	0.25			0.57	0.17	0.25	0.40	0	0	0	0.29	—	—	—		
	ヘルパンギーナ	0.03	0.09	0			0	0	0	0	0	0	0	0.01	6	2	—		
小児科 (定点数:32)	流行性耳下腺炎	0.16	0.13	0.06			0.14	0	0	0	0	0	0.50	0.09	6	2	3		
	急性出血性結膜炎	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0.02	1	0.1	—		
	流行性角結膜炎	0	0.13	0			0	0	0	0	0	0	0	0.64	8	4	—		
	細菌性髄膜炎	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0.03	—	—	—		
眼科 (定点数:8)	無菌性髄膜炎	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0.02	—	—	—		
	マイコプラズマ肺炎	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0.18	—	—	—		
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0.00	—	—	—		
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0.13	—	—	—		
	インフルエンザ (入院例に限る)	3.71	2.14	1.14			2.00	5.00	1.00	0	0	0	0	6.41	—	—	—		
基幹 (定点数:7)																			

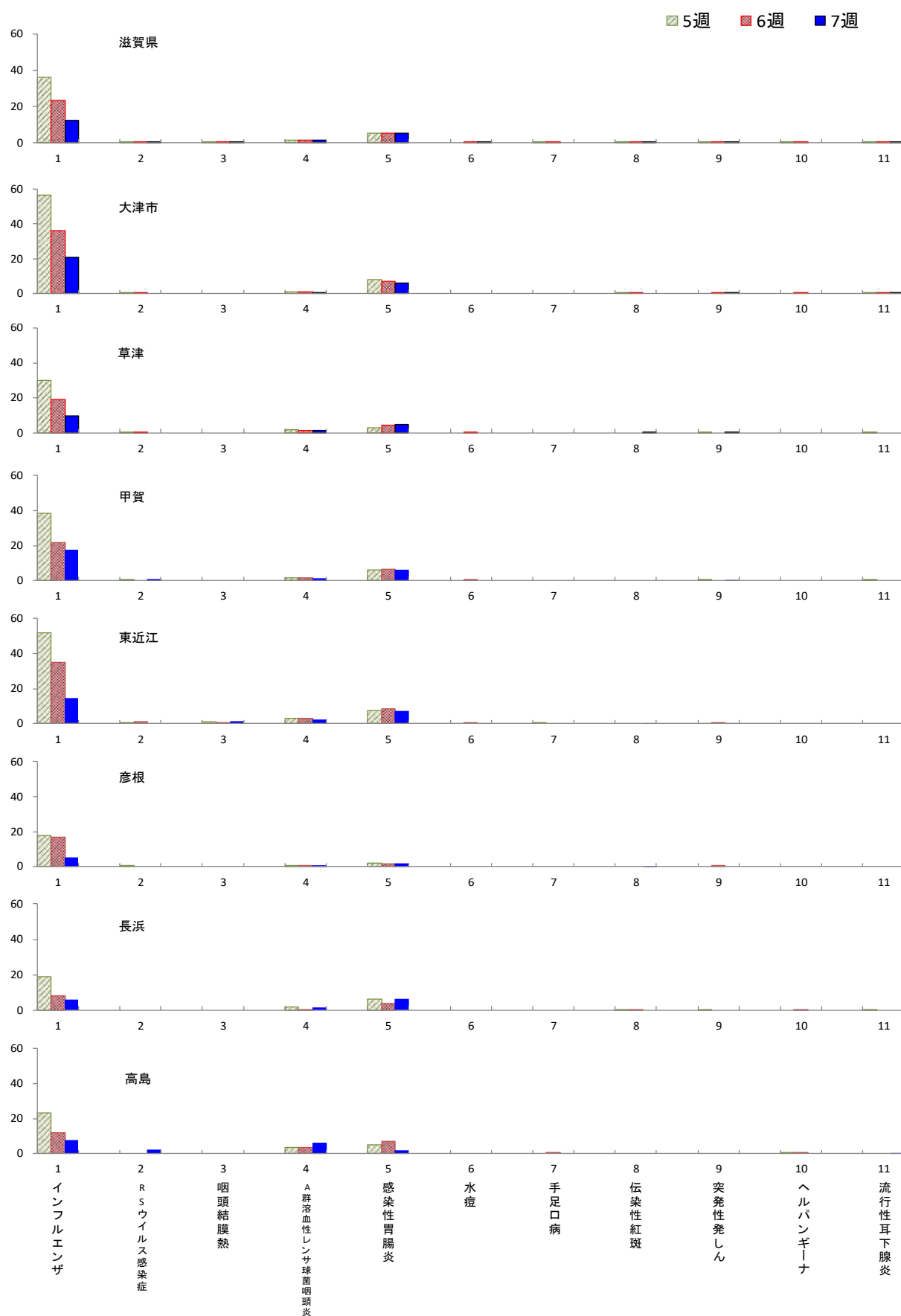
i 定点把握疾患:人口及び医療機関の分布等を勘案して滋賀県が定めた患者定点(医療機関)で患者を診断した場合に、週単位で保健所へ報告される感染症を言い、報告された症例数を患者定点の数で除した「定点当たり報告数」により、発生状況を把握しています。

ii 定点当たり報告数が「警報開始基準値」を超える全ての保健所の管内人口の合計が、県人口全体の 30%を超えた場合に滋賀県全域に警報を発令(「警」)します。また、定点当たり報告数が「注意報基準値」を超えた場合に注意報(「注」)を発令します。

iii 今週の値が過去 5 年の同時期(全数把握疾患は同時期の累積報告数)の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、「平均値 + 2 × 標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」で標記(定点把握疾患の平均値は過去 5 年間の前週、当該週、後週の合計 15 週の平均を利用)

iv **赤字斜字** : 警報開始基準値を超過、**紫字斜字** : 注意報基準値を超過

3. 定点把握疾患(五類感染症)の保健所別推移(滋賀県、今週と過去 2 週、縦軸; 定点当たり報告数)



4. 定点把握疾患(五類感染症)の年齢階級別報告数 (滋賀県、今週)

インフルエンザ定点 (53医療機関)	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳～
インフルエンザ	665	5	9	27	29	31	33	39	38	26	43	30	87	24	44	41	45	26	29	27	32
大津市保健所	230	-	3	10	8	7	13	9	9	6	23	10	37	6	18	14	19	8	10	7	13
草津保健所	97	-	3	3	5	2	7	4	4	6	2	6	10	2	3	7	11	3	8	4	7
甲賀保健所	122	1	2	7	3	7	7	4	9	3	7	6	26	9	6	6	6	4	3	5	1
東近江保健所	118	3	1	6	11	12	5	17	12	7	8	5	12	1	4	2	1	2	-	4	5
彦根保健所	35	1	-	1	-	2	-	1	1	-	1	1	-	2	5	8	2	2	3	2	3
長浜保健所	40	-	-	-	2	-	-	3	2	1	1	1	2	4	6	2	3	5	3	3	2
高島保健所	23	-	-	-	-	1	1	1	1	3	1	1	-	-	2	2	3	2	2	2	1

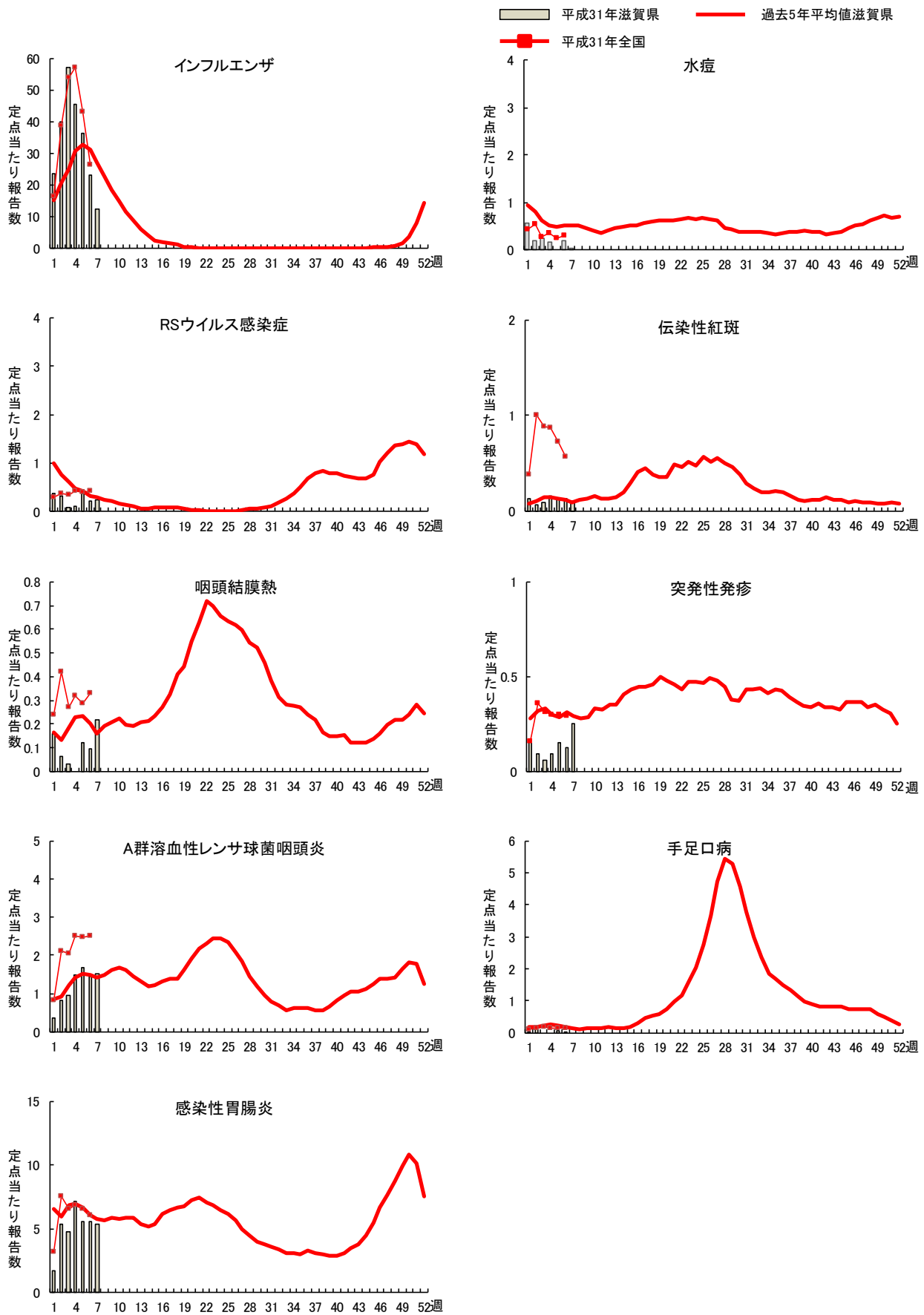
小児科定点 (32医療機関)	総数	0～5ヶ月	5～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～
RSウイルス感染症	8	3	1	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱 (プール熱)	7	-	-	2	3	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	49	-	-	3	5	4	5	7	6	6	6	4	2	1	-
感染性胃腸炎	170	2	7	26	18	16	18	8	15	9	8	5	14	4	20
水痘	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑 (リンゴ病)	3	-	1	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	8	1	2	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-

眼科定点 (8医療機関)	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳～
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

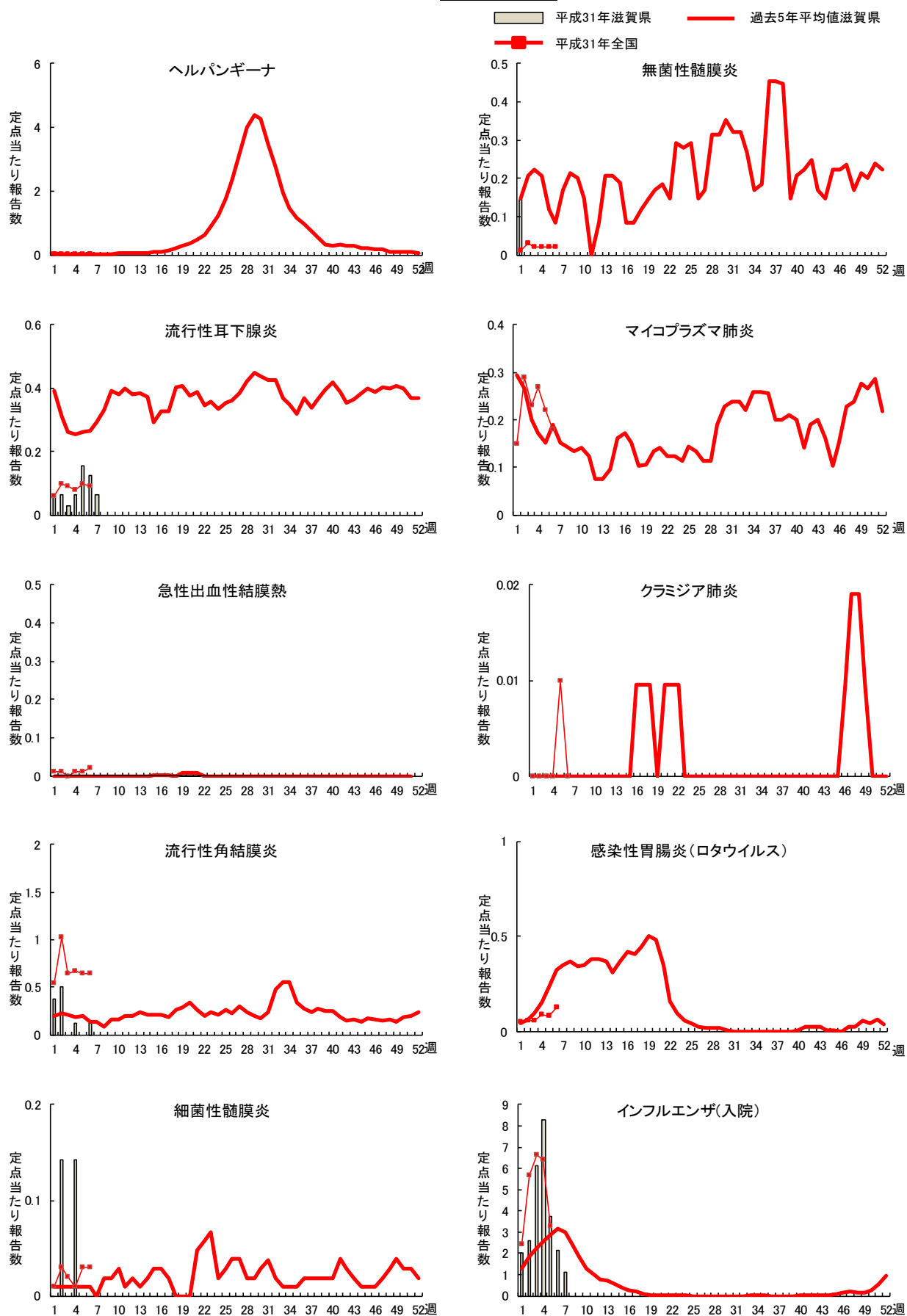
基幹定点 (7医療機関)	総数	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

「-」: 報告なし

5-1. 定点把握疾患(五類感染症)の発生動向(全国は前週まで掲載)



5-2. 定点把握疾患(五類感染症)の発生動向(全国は前週まで掲載)



6. 全数把握疾患 詳細情報(今週報告例) [▽]

類型	疾患	診断週	保健所	年齢	性別	病型等	推定感染地	病原体等
二類	結核	07	大津市	60歳代	女	無症状病原体保有者	-	-
五類	梅毒	07	東近江	50歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	-	性的接触
	百日咳	07	大津市	10歳未満	女	-	-	DPT4回接種
	百日咳	07	大津市	10歳代	女	-	大津市保健所管内	ワクチン接種歴 不明
	百日咳	07	大津市	10歳未満	女	-	大津市保健所管内	ワクチン接種歴不明
	麻疹	07	草津	10歳代	女	検査診断例	県外	ワクチン接種歴無

注目すべき感染症

1. インフルエンザ

- (1) インフルエンザの警報の発令について(滋賀県健康医療福祉部薬務感染症対策課)

<http://www.pref.shiga.lg.jp/hodo/e-shinbun/eh00/20190117.html>

- (2) インフルエンザとは(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/219-about-flu.html>

- (3) インフルエンザウイルス分離・検出状況(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/iasr-inf.html>

- (4) 抗インフルエンザ薬耐性株サーベイランス(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/influ-resist.html>

2. 麻疹

- (1) 麻疹患者の発生に伴う注意喚起について(滋賀県健康医療福祉部薬務感染症対策課)

<http://www.pref.shiga.lg.jp/hodo/e-shinbun/eh00/20190215.html>

- (2) 麻疹とは(国立感染症研究所)

全国の発生動向、ウイルス検出状況や対策方法など掲載されています。

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ma/measles.html>

3. 風しん

- (1) 風疹急増に関する緊急情報(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/rubella-m-111/rubella-top/2145-rubella-related/8278-rubella1808.html>

- (2) 風しん抗体検査について(滋賀県健康医療福祉部薬務感染症対策課)

<http://www.pref.shiga.lg.jp/e/imuyakumu/huusin/huusinkoutaikensa.html>

[▽] 感染症発生動向調査事業において、一～四類および五類感染症の全数報告対象の感染症が、診断した医師から最寄りの保健所へ届出されています。

7. 全数把握疾患の累積患者報告数 保健所別(平成 31 年、全国は前週までの値) vi,vii

疾患	滋賀県			保健所別累積報告数							全国 (前週)	昨年累積報告数	
	例年より 多い	例年より 非常に多い	累積 報告数	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島		滋賀県	全国
二類 結核	○		27 1.91	13 3.81	3 0.88	1 0.69	3 1.31	3 1.92	2 1.29	2 4.11	1848 1.46	235 16.63	21850 17.21
三類 細菌性赤痢			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	8 0.01	2 0.14	268 0.21
腸管出血性大腸菌感染症	○		3 0.21	0 0	1 0.29	1 0.69	0 0	0 0	1 0.65	0 0	111 0.09	30 2.12	3844 3.03
四類 E型肝炎			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	43 0.03	2 0.14	442 0.35
A型肝炎			1 0.07	0 0	1 0.29	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	70 0.06	1 0.07	925 0.73
重症熱性 血小板減少症候群			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	1 0.00	0 0	77 0.06
チクングニア熱			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0.00	0 0	4 0.00
つつが虫病			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	36 0.03	1 0.07	455 0.36
デング熱			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	32 0.03	0 0	201 0.16
日本紅斑熱			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	2 0.00	0 0	303 0.24
レジオネラ症	○		4 0.28	0 0	1 0.29	0 0	0 0	1 0.64	2 1.29	0 0	163 0.13	33 2.34	2130 1.68
五類 アメーバ赤痢	○		1 0.07	1 0.29	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	77 0.06	5 0.35	838 0.66
ウイルス性肝炎			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	35 0.03	1 0.07	269 0.21
カルバペネム耐性 腸内細菌感染症			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	208 0.16	11 0.78	2253 1.77
急性弛緩性麻痺	-	-	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	7 0.01	1 0.07	139 0.11
急性脳炎			1 0.07	0 0	1 0.29	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	210 0.17	4 0.28	657 0.52
クリプトスポリジウム症			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0.00	0 0	25 0.02
クロイツフェルト・ヤコブ病			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	14 0.01	6 0.42	219 0.17
劇症型溶血性 レンサ球菌感染症	○		2 0.14	0 0	0 0	0 0	2 0.87	0 0	0 0	0 0	114 0.09	10 0.71	687 0.54
後天性免疫不全症候群			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	95 0.07	10 0.71	1292 1.02
ジアルジア症			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	2 0.00	0 0.00	68 0.05
侵襲性 インフルエンザ菌感染症	○		1 0.07	0 0	1 0.29	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	95 0.07	7 0.50	483 0.38
侵襲性髄膜炎菌感染症			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	9 0.01	0 0	37 0.03
侵襲性肺炎球菌感染症			4 0.28	1 0.29	1 0.29	0 0	1 0.44	0 0	1 0.65	0 0	499 0.39	41 2.90	3299 2.60
水痘(入院例)			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	47 0.04	5 0.35	461 0.36
先天性風しん症候群			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	1 0	0 0	0 0
梅毒	○	○	4 0.28	1 0.29	0 0	0 0	2 0.87	0 0	1 0.65	0 0	567 0.45	24 1.70	6923 5.45
播種性クリプトコックス症			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	13 0.01	2 0.14	178 0.14
破傷風			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	4 0.00	0 0	130 0.10
バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
バンコマイシン耐性 腸球菌感染症			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	9 0.01	2 0.14	79 0.06
百日咳	-	-	15 1.06	11 3.22	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	4 8.22	1680 1.32	141 9.98	11947 9.41
風しん			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	447 0.35	12 0.85	2917 2.30
麻しん	○	○	2 0.14	0 0	1 0.29	1 0.69	0 0	0 0	0 0	0 0	167 0.13	1 0.07	282 0.22
薬剤耐性 アシネトバクター感染症			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	4 0.00	0 0	24 0.02

- vi 今年第 1 週以降に診断された感染症の累計報告数を全国、滋賀県および保健所別に示しています。上段に今年の「累積報告数」、下段に「人口 10 万人当たりの累積報告数」を記しています。
- vii 今年と過去 5 年の同時期の累積報告数の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、または「平均値+2×標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」で標記

【参考】今週の学校欠席者情報収集システム(保育園サーベイランス含む)概況(滋賀県、今週)

滋賀県では、園および学校等により、感染症による欠席者等の情報を学校等欠席者・感染症情報収集システム (https://scl11.953862.net/schoolkoukai/view_all.php) へ毎日入力いただいています。入力いただいたデータを、本感染症週報と同期間について、集計して掲載しています。

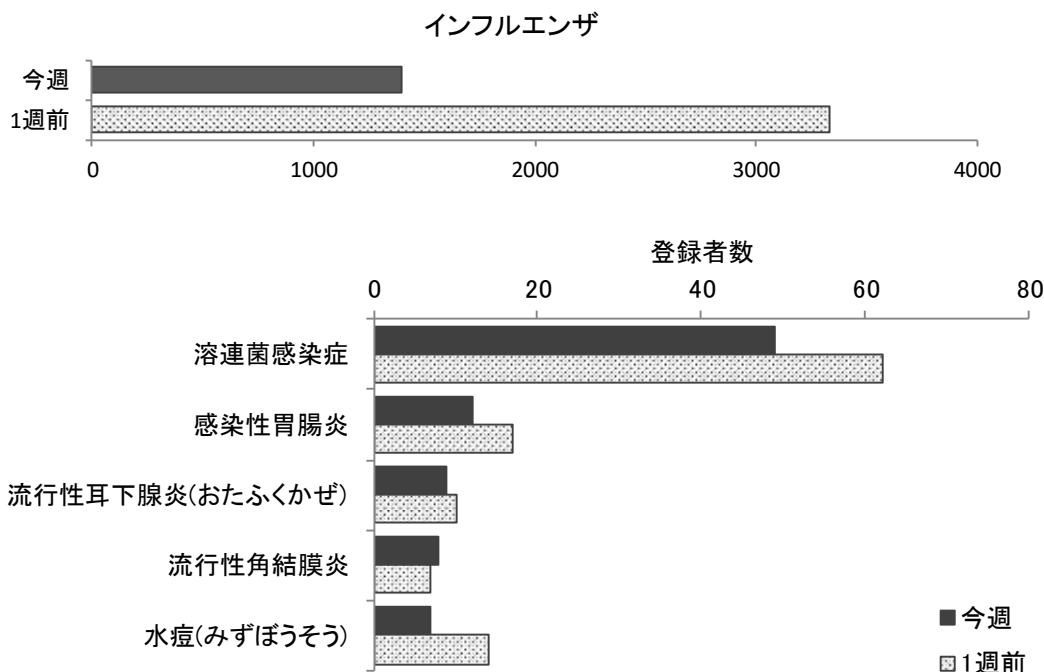


図. 学校欠席者情報収集システム(保育園サーベイランス含む)において登録数の多い疾患
横軸: 登録数

【全国情報】 国立感染症研究所 感染症疫学センターHP に掲載されています。

感染症発生動向調査 週報(IDWR)

<http://www.niid.go.jp/niid/ja/idwr.html>

病原微生物検出情報(IASR)

<http://www.niid.go.jp/niid/ja/iasr.html>

インフルエンザ様疾患発生報告(学校欠席者数)

<http://www.niid.go.jp/niid/ja/flu-flulike.html>

【届出対象疾患】 厚生労働省 HP に掲載されています。

感染症法に基づく医師の届出のお願い

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/kekkaku-kansenshou11/01.html

滋賀県感染症発生動向調査週報は、感染症法に基づいて県内の医師、定点医療機関および県内各保健所より報告されたデータを用いて、滋賀県衛生科学センター健康科学情報係において作成しています。

本情報は滋賀県感染症情報センターホームページに掲載しております。

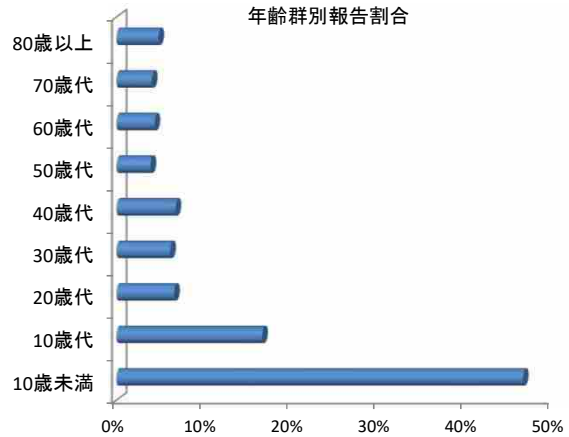
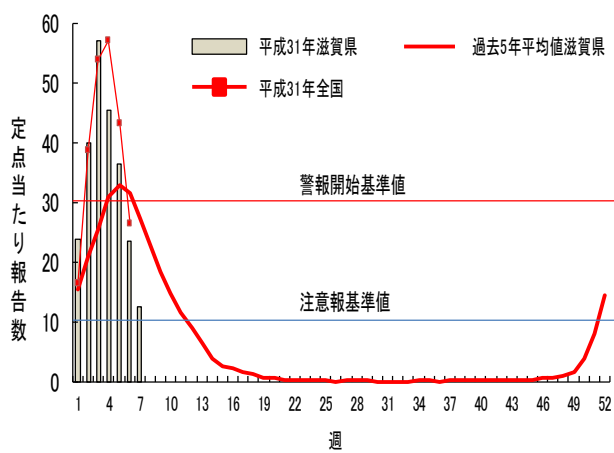
滋賀県感染症情報センターHP

<http://www.pref.shiga.lg.jp/e/ef45/kansen-c/index.html>

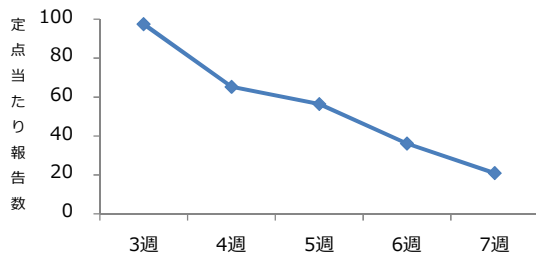


イラストは滋賀県健康づくりキャラクター「しがのハグ&クミ」

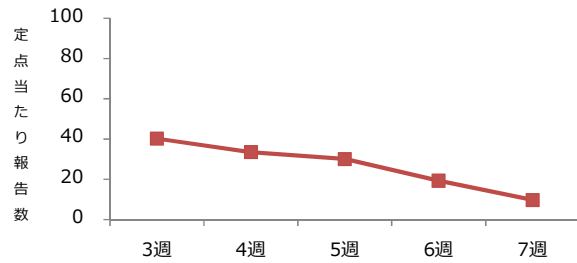
インフルエンザの発生動向 平成31年7週 滋賀県



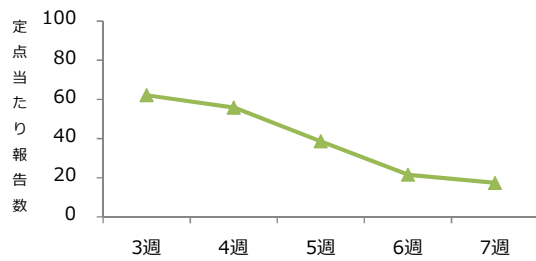
大津市



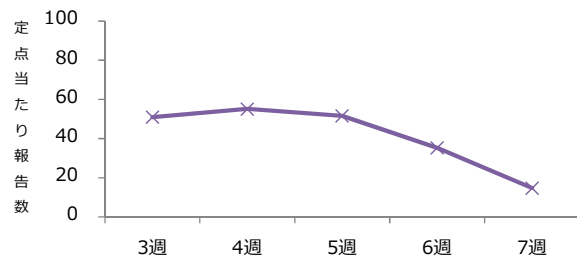
草津



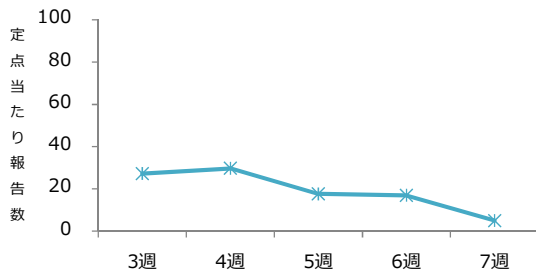
甲賀



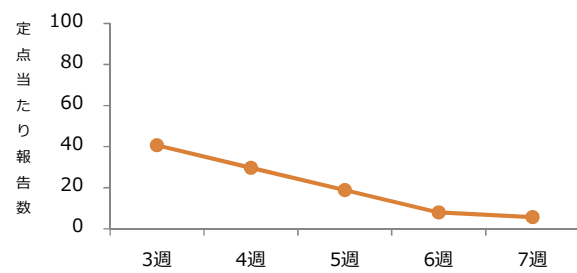
東近江



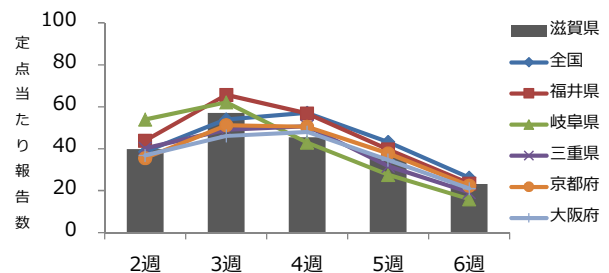
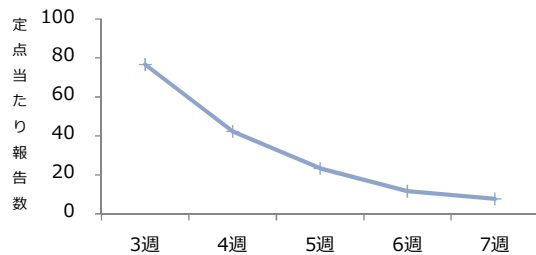
彦根



長浜



高島



本図は先週までのデータにより作成しています。